

The 26th Annual Meeting of  
the Japanese Society for Breastfeeding Research

## ご 挨 拶

平成 23 年 10 月 8 日（土）、9 日（日）の 2 日間、日本赤十字看護大学広尾キャンパスで開催される第 26 回日本母乳哺育学会・学術集会のプログラムと講演、シンポジウム、並びに一般演題の抄録を日本母乳哺育学会雑誌・抄録号としてまとめました。

今回は「母乳をめぐる環境を考える」をテーマとし、環境ホルモンや薬物治療が母乳に与える影響、児童虐待や NICU に入院した新生児の育児支援、勉強会として WHO コードを取り上げ、様々な角度からの講演、シンポジウム等を企画しました。また、一般演題は 21 題が発表される予定であり、活発な討論と有意義な情報交換が行われることと思います。

今回の学術集会が、母乳哺育学の発展に寄与する質の高い内容となり、その成果が母乳育児の実践に活かされることを期待しています。

平成 23 年 10 月吉日

第 26 回日本母乳哺育学会・学術集会会長

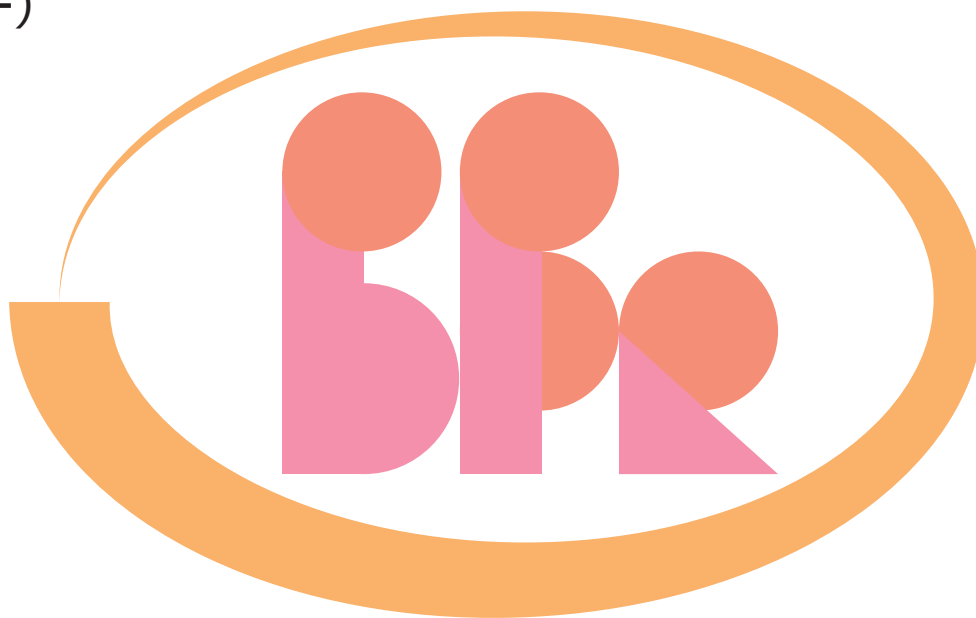
杉本 充弘

（日本赤十字社医療センター副院長）

# 第26回日本母乳哺育学会・学術集会 オリジナルロゴマークについて

「母乳哺育研究 (Breastfeeding Research)」の頭文字である「B」「f」「R」の3文字を、それぞれ「妊婦さん」「褥婦さん」「おっぱいに手を伸ばして吸いつく赤ちゃん」に見立てて図案化しました。外枠は、ゆりかごをモチーフに Japanese の「J」を表したものです。切れ目なく繋がるオーバルフレームは、周産期の母子を温かく見守る人たちの輪であり、永年にわたって積み重ねられた本学会の活動の歴史と、その中で見出された数々のエビデンスをも象徴しています。

(カラー)



The 26th Annual Meeting of  
the Japanese Society for Breastfeeding Research

(グレースケール)



The 26th Annual Meeting of  
the Japanese Society for Breastfeeding Research

## 第 26 回日本母乳哺育学会・学術集会 開催概要

- テーマ 「母乳をめぐる環境を考える」
- 会 長 杉本 充弘  
(日本赤十字社医療センター 副院長、周産母子・小児センター長)
- 会 期 平成 23 年 10 月 8 日 (土) ～9 日 (日) 8:30～18:00
- 会 場 日本赤十字看護大学 広尾キャンパス (広尾ホール・201 講義室)  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3
- 理事会 平成 23 年 10 月 8 日 (土) 12:30～13:30  
日本赤十字社助産師学校 会議室 (日本赤十字看護大学 6 階)
- 総 会 平成 23 年 10 月 8 日 (土) 17:20～18:00  
日本赤十字看護大学 広尾キャンパス (広尾ホール)
- 懇親会 平成 23 年 10 月 8 日 (土) 18:00～19:00  
日本赤十字看護大学 学生食堂

### 第 26 回日本母乳哺育学会・学術集会事務局

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 日本赤十字社医療センター 医療秘書課内  
電話：03-3400-1311 内線：2579・2106 (受付時間：平日 13:00～16:00)  
FAX：03-3409-1604 ホームページ：<http://bonyu26.umin.jp/>  
電子メールアドレス：bonyu26-office@umin.net

# プログラム

1日目:10月8日(土)

- シンポジウムⅠ (勉強会) 8:30~10:30(広尾ホール)  
「WHOコード~母乳代用品マーケティングの国際規準~を学ぶ」  
座長:井村 真澄(日本赤十字看護大学看護学部)  
解説講演口演者:三浦 孝子  
シンポジスト:久米 浩太(久米クリニック)  
青田 英行(株式会社杏林堂薬局)  
小池 梨花(練馬区健康部・練馬区保健所)
- 開会の辞 10:40~10:45(広尾ホール)  
日本母乳哺育学会理事長 牛島 廣治
- 会長講演 10:45~11:35(広尾ホール)  
「母乳をめぐる環境を考える」  
座長:板橋 家頭夫(昭和大学医学部小児科)  
演者:杉本 充弘(日本赤十字社医療センター)
- 特別講演Ⅰ 11:35~12:25(広尾ホール)  
「環境汚染物質のモニタリングと今後の課題 -母乳の安心・安全-」  
座長:牛島 廣治(日本大学医学部)  
演者:小泉 昭夫(京都大学大学院医学研究科)
- ランチオンセミナーⅠ 12:30~13:30(201講義室)  
「乳幼児虐待 -主として乳児院の臨床から考える-」  
座長:笠井 靖代(日本赤十字社医療センター第一産婦人科)  
演者:今田 義夫(日本赤十字社医療センター第二小児科)
- 理事会 12:30~13:30(日本赤十字社助産師学校<日本赤十字看護大学6階>)
- 教育講演 13:40~14:30(広尾ホール)  
「ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV-I)と母乳」  
座長:小池 通夫(和歌山県立医科大学)  
演者:森内 浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
- シンポジウムⅡ 14:40~17:20(広尾ホール)  
「母乳と薬物」  
座長:関 和男(横浜市立大学附属市民総合医療センター)  
植松 和子(日本赤十字社医療センター薬剤部)  
解説講演口演者:植松 和子(日本赤十字社医療センター薬剤部)  
シンポジスト:中野 隆(富山県立中央病院母子医療センター)  
福田 倫明(日本赤十字社医療センターメンタルヘルス科)  
石井 真理子(国立成育医療研究センター薬剤部)  
林 昌洋(虎の門病院 薬剤部)
- 総会 17:20~18:00(広尾ホール)  
奨励賞表彰式 **閉会式にて表彰**
- 懇親会 18:00~19:00(学生食堂)

2日目:10月9日(日)

- 一般演題 8:30～11:35(広尾ホール)
- 特別講演Ⅱ 11:40～12:30(広尾ホール)  
「胎児・新生児への環境汚染」  
座長:戸谷 誠之(昭和女子大学大学院)  
演者:森 千里(千葉大学大学院医学研究院)
- ランチョンセミナーⅡ 12:40～13:40(201講義室)  
「母乳分泌の生理に基づいた搾乳支援」  
演者:水野 克己(昭和大学小児科)
- 企画渉外委員会 12:40～13:00(日本赤十字社助産師学校<日本赤十字看護大学6階>)
- 招請講演 13:50～14:40(広尾ホール)  
「BFHI in Korea」  
座長:山内 芳忠(日本母乳の会)  
演者:Shin, Son Moon(大韓民国 第一(チェイル)病院 小児青少年科)
- シンポジウムⅢ 14:50～17:30(広尾ホール)  
「NICUにおける母乳育児」  
座長:川上 義(日本赤十字社医療センター新生児科)  
長内 佐斗子(日本赤十字社医療センター看護部)  
解説講演口演者:長内 佐斗子(日本赤十字社医療センター看護部)  
シンポジスト:東海林 宏道(順天堂大学医学部小児科)  
三浦 文宏(千葉県こども病院新生児未熟児科)  
金子 まなぶ(日本赤十字社医療センター看護部)  
橋本 佳美(佐久大学看護学部)
- 閉会の辞 17:30～(広尾ホール)  
次回会長挨拶

# 一般演題(口演)

10月9日(日) 広尾ホール

## 第1群 基礎研究・調査

8:30~09:20

座長:本間 和宏(東京農業大学栄養科学科)

1 母乳細胞のアポトーシスに対する $\alpha$ -ラクトアルブミンの影響について

東京農業大学栄養科学科 若菜 宣明

2 人乳セルロプラスミンの泌乳期別含量ならびに乳腺炎の影響

玉川大学農学部生命化学科 富田 信一

3 うっ滞性乳腺炎の発症あるいは重篤化に係わる食事成分

宮崎大学農学部応用生物科学科 江藤 望

4 母親の食事摂取状況と母乳成分との関係

城西大学大学院薬学研究科 小林 晴香

5 授乳期にある母親の食生活に及ぼす哺乳行為と意識の関連

城西大学薬学部医療栄養科 秋山(山王丸) 靖子

6 母乳中オロパタジン濃度の検討

昭和大学小児科学教室 初野 美智

## 第2群 新生児支援

9:25~10:05

座長:植地 正文(東京福祉大学社会福祉学部)

### 奨励賞

1 極低出生体重児における骨密度(BMD)・骨塩定量(BMC)評価

—栄養法が与える影響—

昭和大学小児科学教室 滝 元宏

2 KMC(kangaroo mother care:カンガルーケア)中のNNS(non nutritive sucking:非栄養的吸啜)導入基準作成に向けた取り組み

葛飾赤十字産院NICU 平井 香名

3 ノロウイルス・イムノクロマトキットの改良による母乳、新生児便の偽陽性の減少

日本大学医学部病態病理学系微生物学分野 牛島 廣治

4 母子同室・病児入院での母乳育児支援

—過去3年の母子同室・病児入院の母乳率分析—

日本赤十字社医療センター小児病棟 長内 佐斗子

5 口唇口蓋裂をもった児の直接授乳の支援  
育児支援から～

～直接授乳を長期的に継続できた両側完全唇顎口蓋裂をもった児への母乳  
マザーズ・ブレイス八橋 稲田 千晴

## 第3群 母親のリスクと支援

10:10~10:50

座長:川崎 佳代子(佐久大学看護学部看護学科)

1 不妊治療出産例の母乳哺育状況

医療法人登誠会諏訪マタニティークリニック 藤本 妙子

### 奨励賞

2 高齢出産の増加に伴う母乳育児支援

—過去3年の年齢階層別母乳率の分析—

日本赤十字社医療センター産科外来 坂上 とし子

3 ハイリスク分娩の増加に伴う母乳育児支援の検討

～分娩様式と母乳率から見た過去3年間の分析～

日本赤十字社医療センターMFICU 水谷 芳江

4 産後精神疾患と母乳哺育

医療法人登誠会諏訪マタニティークリニック 江井 雅美

5 乳幼児に虐待をする母親の母乳育児

香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究第1期生 井上 明子

## 第4群 スタッフ教育・育児支援等

10:55~11:35

座長:木戸 道子(日本赤十字社医療センター産婦人科)

1 産科病棟スタッフの母乳育児支援に対する意識の再評価

—母乳育児成功のための10か条に取り組んで—

株式会社日立製作所日立総合病院看護局D棟4階 大橋 悠

2 当院における入院中の母乳育児支援の実態と課題

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 山岸 昭子

3 生後早期(産後入院中)の補足が1か月健診時の母乳率に与える影響

医療法人財団順和会山王病院小児科 依田 卓

4 総合周産期母子医療センターにおける1ヶ月母乳率向上の取り組み  
要因について—

—退院時に母乳栄養の母親が混合栄養に移行する  
日本赤十字社医療センター産科外来 大岡 千寿香

5 退院後の継続的な支援が母乳育児に与える効果について

東京都立大塚病院産科病棟 村田 滋子